一般社団法人

健全パチンコ・パチスロ推進フォーラム

（KPフォーラム）

一般社団法人

健全パチンコ・パチスロ推進フォーラム

（KPフォーラム）

Overview

法人概要

会社名	一般社団法人 健全パチンコ・パチスロ推進フォーラム
電話番号	03-5324-2566
所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座8-17-5
代表者	西村 直之
ホームページ	https://www.kenzenppsforum.com

代表挨拶

「社会との調和」に基づいた新たな戦略的フレームワークの必要性

未来志向の遊技産業へ

「ぱちんこ」という日本独自の娯楽文化を 100 年近く提供し続けてきた遊技産業は、人々の生活に寄り添いながら歴史を重ね、時代に呼応する形で進化・成長を遂げてきました。
しかしながら、遊技業が産業として確立された昭和から、平成・令和へと時代が移り変わる中で、人々の価値観、社会環境は“サスティナブル（持続可能な）”をキーワードにドラスティックな変化を遂げつつあります。そしていま、その変化に呼応し、サスティナブル社会の中で“在るべき産業の姿”を追求する時期にきているといえるでしょう。

現在、遊技産業が置かれている立場を直視すると、その社会情勢から、産業としての社会的責任の果たし方、産業が存在することで生じる負の影響対策についての考え方、そして産業・企業内におけるこれらの位置付けを転換し、“社会との調和”を前提とした新たな産業価値の創造に舵を切る必要性が指摘されます。それができて初めて、産業の持続可能な成長を現実的なものとして見据えることが可能になるでしょう。

この組織は、遊技産業の存在価値の最大化を図ると同時に負の影響を最小化することを目的に設立されました。具体的には、遊技産業を持続可能な産業と成し得る“新たな戦略的フレームワーク”を提供し、この定着を図ります。また、産業の SDGs 戦略として“未来志向の負の影響対策”を概念化し、その実践を通して、社会に遊技産業の新たな価値化を促すとともに、社会とのコミュニケーションに基づいたCSR ビジョンを提案。“社会に必要とされる産業”になるロードマップを示し、社会と調和した産業としてのレーゾンデートル（存在意義）強化を目指します。

唯一無二の特性を持つ日本有数の内需産業の、人々に愛され、頼られ、称えられる“明日”に向けて。

法人代表
西村 直之
NAOYUKI NISHIMURA

Our Mission

私たちのミッション

日本独自の娯楽文化としての矜持

　1948年に「風俗営業取締法」が成立・施行されました。この年を"大衆娯楽・ぱちんこ"の誕生年だとすると、遊技業は100年近い歴史を持つ産業に位置づけられます。またぱちんこは、その誕生から現在に至るまで多くのファンに支えられ、その歴史を刻んできた日本における代表的な娯楽文化です。この日本独自の娯楽文化の持続可能な維持・発展を"社会との調和"をキーワードに追求して参ります。

未来志向の"負の影響対策"

　遊技産業が置かれた現状を鑑みた際、その社会情勢から「産業の社会的責任」や「負の影響対策」についての考え方、およびその位置付けを大きく転換する必要性が指摘されます。我々は、産業のSDGs戦略として"未来志向の負の影響対策"を概念化し、その実践を通して社会に遊技産業の新しいイメージ・認知を創造していくことが急務であるとの考えのもと、既存の負の影響対策（CSR事業）に加えて、新たな負の影響対策のフレームワークの構築および定着を図る事業を提案・実行して参ります。

Our Vision

私たちのビジョン

- 科学的根拠に基づく活動
- 学術関係者との産学連携
- 検証可能な新しい対策
- 新たなCSR・CSVの提示
- 負の影響対策の標準化
- 社会との対話の推進

Our Value

私たちのバリュー

- エビデンス
- サスティナブル
- 社会的視点
- 国際的視点と独自性
- コミュニケーション

details

事業内容

遊技産業の中長期的な発展と SDGｓ志向での新たな「負の影響」対策を推進し、 社会そして国内外の対策関係者や団体との対話及び連携を可能とするために、 まずは以下のような機能を備えられるように育っていくことを目指しています。

01 科学機関への助成

SDGs志向での新たな「負の影響」対策のフレームワーク構築を行うにあたり、科学的な研究を推進するための学術研究機関（大学等）に対する研究支援、及び若手研究者育成の支援を目的とした助成を行います。

02 新たな教育・啓発の仕組みづくりと普及推進

科学的根拠に基づいた教育ツール等を提供します。産業従事者にむけた教育コンテンツ等の普及推進を行います。

03 研究者・有識者との意見交流

「負の影響」に関する取り組みについて、国内外の研究者・有識者との連携体制構築を模索していきます。日本固有の娯楽文化である「ぱちんこ」の理解、認知促進に向けた働きかけを推進します。

Our 6 Roles

6つの役割

01 科学研究を促進し、エビデンスある対策作りを活性化する

日本国内においては、産業の「負の影響」対策や、社会における役割・価値について、専門的に研究する機関や研究者が乏しく、世界と比べて未発達の領域となっています。本法人の設立により、研究成果の公表や情報発信が増加することが期待されます。

02 遊技産業の社会的価値を高める

遊技産業があることでの「負の影響」対策だけでなく、社会貢献（CSR 及び CSV）の正しい情報が科学的なエビデンスに基づき発信・PR されることで、産業の存在価値や地域に遊技場があることの意義を社会に再認識してもらうことを目指します。

03 国際標準に引けをとらない負の影響対策と、その PR を可能にする

研究機関との連携により、世界のゲーミング産業における「負の影響」対策に近い水準と目線、すなわち研究成果やエビデンスに基づいた検証を行いながら取り組みを検討できる体制を構築し、国際社会からの信頼に足る対策へと発展させていきます。

04 既存の「依存問題対策」とのすみわけ

法人設立により、プレイヤーに対する事後対策の分野（PG対策の取り組み）と、産業が本来担うべき対策分野（予防および遊び方の啓発の取り組み）とを明確に切り分けることができます。

05 遊技産業内の意識醸成および社会的認知の向上を図る

社会との対話・調和を目指す新たな「負の影響」対策の推進は、遊技産業で働く人々が自らの仕事や遊技の在り方を広い視野で捉える契機となり、産業全体の価値や内包する課題への理解を自発的に深めることにつながります。

06 遊技産業に対するリテラシー向上を図るためのデータ提供と社会との対話推進

遊技産業への正確な理解を社会に広げるため、研究・調査に基づくデータを積極的に提供するとともに、多様な立場との対話を通じて、建設的な議論と相互理解の促進を図ります。

社会と調和した未来志向の遊技産業へ

業界と研究者をつなぎ

エビデンスある負の影響対策を推進します

https://www.kenzenppsforum.com

KPフォーラム
https://www.kenzenppsforum.com